2016年 秋号

# ライフリー いきいき通信

CONTENTS

Interview　リハビリパンツと自立排泄支援
病院・施設訪問　公益財団法人 日産厚生会
介護老人保健施設 佐倉ホワイエ

Interview

## 尊厳ある人生を最期まで――「リハビリパンツ」という名前には、そんな願いを込めました

「リハビリパンツ」の名付け親

茨城県立医療大学名誉教授／茨城県立健康プラザ管理者

**大田仁史先生**

医療専門職を養成する日本で初めての茨城県立医療大学付属病院を立ち上げた、リハビリテーション医療・介護の第一人者。「老い」「介護」に関する講演活動や、自ら考案した「シルバーリハビリ体操」の普及にも力を注ぎ、全国に多くのファン、実践者がいる。1995年に発売された「リハビリパンツ」の名付け親でもある

### 笑顔と自信を取り戻す、自立排泄支援

「リハビリテーション」の語源は、ラテン語のRe-Habilis。Reには「再び」、Habilisには「ふさわしい・適した」という意味があります。つまり「年をとっても、障がいを負っても、その人らしく、尊厳をもって生きる」ことが本義です。医師である私は長年、やむなくおむつをあてられ、つらく悲しい思いをされた方を数多く見てきました。本当は這ってでもトイレに行きたいけれど、おむつでは行動が制限されるし、失禁・排便すれば動く気力、自尊心をもそがれてしまう。それに対して、漏れや匂いの不安が少なく、動きやすいパンツなら、「自分でトイレに行こう!」という意欲がわきます。1995年、自立排泄を応援すべく誕生した紙パンツに、私は『リハビリパンツ』と名付けました。たとえ身体が不自由でも「最期まで人としての尊厳を失うことなく、その人らしく生きてほしい」との願いを込めて‥‥。それから20年、今や多くの方がリハビリパンツで笑顔と自信を取り戻されており、大変うれしく思っています。

### 自立排泄の大前提は「10分座れる」「30秒立てる」

トイレに行き、自立排泄を行うための大前提は「背もたれなしで10分間座れる」「しがみついてでも20～30秒の間は立てる」ことです。この2つさえ可能なら、洋式トイレでリハビリパンツを上げ下ろしすることができる。そのためにも日頃から身体を起こして座り、下肢の筋力を落とさない生活を心がけてほしいと思います。車椅子に長く座る場合、もたれっぱなしにならないよう、時折は背もたれを使わないようにしてみる。ベッドから車椅子への移乗では、介助者がひょいと移してしまうのではなく、数秒でもよいので、ご本人の足の力を使って立ってもらう時間をつくる。何より、あきらめず、根気よく続けることが大切です。筋力低下を防ぐ日々の取り組みの積み重ねが、自立排泄に向けた最良のトレーニングとなるのです。

### 人間の尊厳を支える、かけがえのない仕事

自立排泄は、人間が人間らしくあるための原点です。自尊感情、裏を返せば羞恥心に関わる営みであり、的確なケア技術とともに、さりげない配慮が求められます。真にプロフェッショナルな介護は、技術と思いやりの両輪があってはじめて実現できるもの。とくに自立排泄のケアにおいては、果たして自分は、相手の心の機微や尊厳に根ざした対応ができているだろうか――そうした自らへの絶えざる問いかけを忘れないでほしいのです。介護のための介護ではなく、自立と尊厳のための介護。そこにこそ、介護職を志した皆さんのやりがい、使命があるのではないでしょうか。利用者さまの笑顔、そして介護者としてのご自身の誇りのためにも、自立排泄支援を進めていきましょう。

# 病院・施設訪問

**ホワイエ（囲炉裏）のような温かさで、**
**自立排泄、在宅復帰をめざす**

公益財団法人 日産厚生会 介護老人保健施設

## 佐倉ホワイエ（千葉県佐倉市）

佐倉ホワイエでは、利用者様の自尊心を大切に、自立支援に力を入れています。「昼はパンツ」、でも「夜はモレが不安だからテープ止め対応」という実態も多い中、“利用者様の快適性、介助者の業務効率の改善、コスト削減”の3つの観点から「終日パンツ」による自立排泄支援を積極推進しています。今回、この取り組みをさらに強化すべく、足ぐりのフィット性を高めた新リハビリパンツのモニターテストを実施しました。顕著な変化があった利用者様お二人の結果をご紹介します。

### 新リハビリパンツを1週間お試しいただきました。
## 「足ぐりフィット効果」でモレトラブル減少！
## トイレ排泄の機会も創出！

### A様の場合（男性）

現行品（パンツにパッド併用） ➡ NEW 新リハビリパンツ

＊リハビリパンツにパッドを併用。日中はトイレで自立排泄、夜間は主にベッド介助の利用者様です。

**夜間モレを防ぎ「終日パンツ」で過ごす取り組みを実施**

A様は尿量が多く、夜間は足ぐりからのモレが心配でした。新リハビリパンツは足ぐりギャザーのフィット性が高まって、すきまができにくくなり、内外モレが劇的に減少しました。

**尿モレトラブル率が**
**約1/4に減少**
ご本人の不快感やスタッフの業務負担が軽減できました。

### B様の場合（女性）

カバータイプ＋パッド ➡ NEW 新リハビリパンツ

＊カバータイプにパッドを併用。終日ベッド介助の利用者様です

**1日1回はトイレに行く取り組みを実施**

「トイレでおしっこしましょう！」「トイレで出たね」など声がけも積極的に行いました。認知症があり、今までなかなかトイレに立ってもらえなかったB様の排泄意欲も向上しました。

**日中のトイレ誘導で**
**トイレ排泄が可能に！**
**だからパッド内排泄も激減！**
パッド使用枚数も削減できました。

※現在のご使用品と新リハビリパンツを各1週間着用し、モレ状況を確認した結果を比較

## 「パンツをはけた！トイレに行けた！」自立排泄、居宅介助の実現に向けて邁進中です

介護課 主任 **関口翔平さん**

当施設では「自立排泄」に力を注いでおり、**夜間にカバータイプを使用していた利用者様のパンツへの切り替え**にも積極的に取り組んでいます。ベッドでのパンツ交換は大変だと思われがちですが、当施設ではお尻を浮かせる「プッシュアップ」をリハビリに採り入れるなどしてスムーズな交換を心がけています。

今回のモニターテストでは、終日カバーだった B様が、新リハビリパンツでのトイレ排泄にチャレンジされ、自立排泄への第一歩を踏み出しました。私たちは利用者様一人ひとりの排泄時間帯をある程度予測した上でトイレを促します。B様に対しても時間を見計らって「おしっこどうですか」と声がけするとトイレ排泄ができるようになりました。私たちは、利用者様が在宅に戻っても同じように排泄を続けてほしいと考えています。**終日パンツでトイレ排泄できれば、ご家族の介助負担は大きく軽減**されるはず。モニターテストの好結果を受け、これからも**自立排泄に向けたケアに邁進していきます**。

## パンツの機能性を把握し、細やかにケア！モレが減って、スタッフの意識も向上しました

介護課 副主任 **藤江 誠さん**

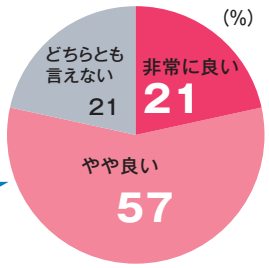
足ぐりギャザーのフィット感が増したことや、ウエスト部分がソフトになって軽い力でも上げ下げできることなど、**新リハビリパンツの機能性を、事前にスタッフが把握した上でモニターテストを実施**しました。加えて、パッドをギャザーの内側にきちんとおさめ、隙間ができないようしっかり上げるなど、その利点を十分発揮できるよう留意しながら排泄ケアに取り組みました。結果、A様の場合に顕著だったように、モレトラブルの軽減につながりました。また利用者様には、肌トラブルもなく、今までと変わらず違和感なくご使用いただけました。

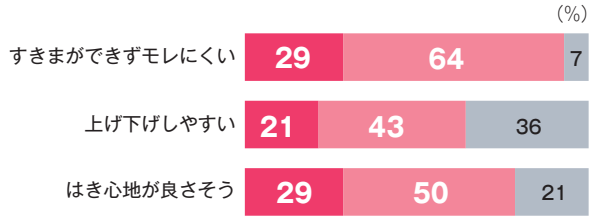
尿モレ、便モレは、利用者様にとって不快なばかりでなく、スタッフの労力面で負担となり、コスト増の主因にもなります。**新リハビリパンツのモレ防止効果には大いに期待しています。細やかな排泄ケアの大切さをスタッフ全員で共有できた**点も、今回の成果のひとつだと思っています。

## スタッフの皆さんへのアンケート結果

### Q 新リハビリパンツを利用してみた印象は？

**約８割の方が「良い」と回答！**

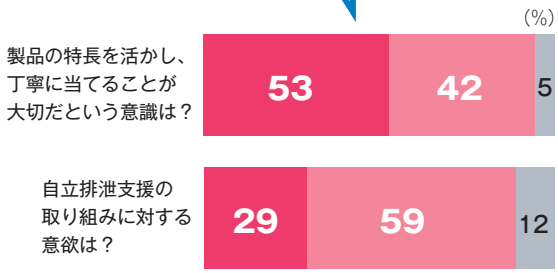



（回答者数14名）

### Q モニターテスト実施後の気持ちの変化は？

**約9割の方の意欲が向上**




（回答者数17名）

INFORMATION

～スルッとはけてピタっとフィットし、下着のようなはき心地～

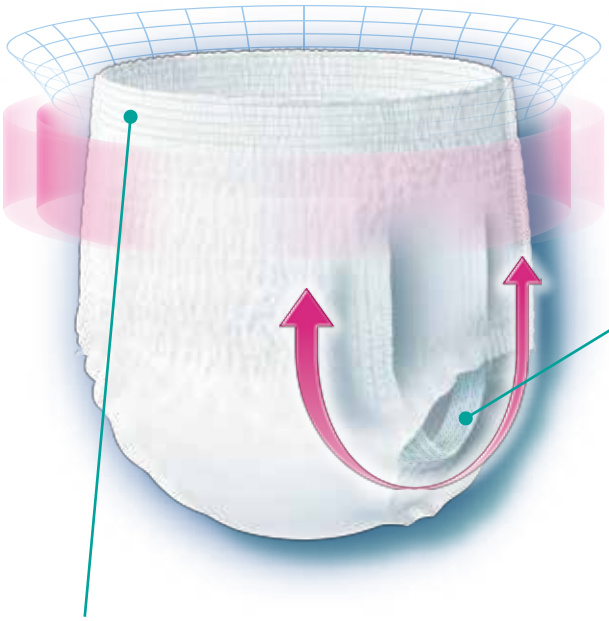
# リハビリパンツ™レギュラー/スーパー

リニューアル

全面通気性

Ag+配合 パワー消臭 トリプル効果 *

*アンモニア・硫化水素・ジメチルアミンについての消臭効果があります



## 特許技術※1 すきまピタっとギャザー

### 足ぐりにふんわりフィットしてすきまモレを低減

モレ率は4分の1に低減し
テープ止めと同等のモレ率を実現！

※1 内側にある足回りギャザーの股下に高さを制限しているつまみ部を有するパンツ型使い捨ておむつ

## スルッとはける独自の機能！

### やわらかストレッチゾーン

軽い力で2倍に広がります。

### 特許技術 スルッとゾーン®

引き上げ時のおしりのひっかかりを低減します。

### しっかりフィットゾーン

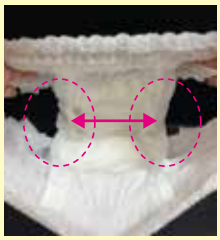
大転子から大臀筋にそってフィットし支える人間工学に基づいた設計でズレを防ぎます。

## 特許技術※2 パッドすっぽりポケット

### ギャザー間が広くなりパッド交換が簡単

現行品

新製品



※2 内側足回りギャザーの股下部分にパッドのズレを抑制するタック部を有するパンツ型おむつ

**製品使用後の評価**

## 86%※の方が「従来品よりモレない」を実感！

**使用者の声**

- ●ギャザー部分がしっかりしていて、モレてしまうことが少なかった。
- ●以前のリハビリパンツに比べ汚染が防げており、衣服の汚染が減った。
- ●パッドがリハビリパンツ内におさまりやすく立ち姿勢の時にすっぽりはめられて楽だった。

※対普段品との比較　介護者調査　ユニ・チャーム調べ

いきいき通信では、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。担当営業・ケアアドバイザーにお伝えいただくか、下記宛先まで、お手紙または FAX でお寄せください。

〒 108-8575
東京都港区三田 3-5-27　住友不動産三田ツインビル西館
ユニ・チャーム株式会社
TEL. 03-6722-1009　FAX. 03-6722-1010

ライフリーサイト
http://www.unicharm.co.jp/healthcare/

尿もれケアナビ
http://www.nyoucare.jp/

排泄ケアナビ
http://www.carenavi.jp/

unicharm
やさしさをつくる。やさしさでささえる。

2016年11月発行